

For Earth, For Life  
Kubota

第123期 中間

平成24年4月1日から平成24年9月30日まで

クボタ通信



株式会社クボタ

# 株主の皆様へ

株主の皆様には格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

クボタ通信(第123期中間)をお届けするに当たり、ご挨拶を申し上げます。

当上半期(平成24年4月1日～平成24年9月30日)のクボタグループの業績につきましては、売上高は、前年同期比648億円(13.4%)増加して5,465億円となりました。国内売上高は、機械・水・環境、その他の全部門で増加となり、169億円(7.4%)増の2,462億円となりました。海外売上高も、全ての部門で大幅な増加となり、478億円(19.0%)増の3,003億円となりました。

営業利益は、増収効果などが円高の影響や年金費用の増加を補い、前年同期比44億円(8.9%)増加の536億円となりました。税金等調整前純利益は、有価証券評

価損や為替差損の減少などによりその他の収益が改善したため、76億円(17.2%)増加の520億円となりました。法人所得税は、190億円の負担、非支配持分控除前純利益は51億円(17.7%)増加の340億円となりました。当社株主に帰属する純利益は、前年同期を43億円(16.3%)上回る306億円となりました。

当社は、クボタグループの企業姿勢、社会との約束、使命を表明するため、本年10月1日に世界共通の企業理念「クボタグローバルアイデンティティ」を制定いたしました。この企業理念の下、クボタグループ一丸となって、食料・水・環境分野における課題解決に貢献してまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年12月



代表取締役会長兼社長

益本 康男

## 中間配当金のお知らせ

- 1 中間配当金  
1株につき8円
- 2 中間配当金の基準日  
平成24年9月30日
- 3 支払開始日  
平成24年12月3日(月曜日)

# 世界共通の企業理念 「クボタグローバルアイデンティティ」を制定

## 1 | 制定の背景・目的

経営のグローバル化などにより多種多様な人材が就業する中、世界中のクボタグループ社員全員が、グローバル経営のベースとなる基本的理念や考え方を国境・世代・階層を越えて共感し、共有する必要性が高まっております。

クボタグループ約3万人の全ての社員が創業者精神や共通の価値観を理解、認知することで、より一層のロイヤリティの高揚とグループ丸となった事業活動の推進を目指します。

## 2 | クボタグローバルアイデンティティの全体像

### ① スピリッツ（私たちの精神・姿勢）

- 一． 総合力を生かすすぐれた製品と技術を通じて社会の発展につくそう
- 一． 会社の繁栄と従業員の幸福を希って今日を築き明日を拓こう
- 一． 創意と勇気をもって未知の世界に挑戦しよう

### ② ブランドステートメント（私たちの約束）

## For Earth, For Life



「For Earth, For Life」ー クボタグループは、美しい地球環境を守りながら、人々の豊かな暮らしをこれからも支えていくことを約束します。

### ③ ミッション（私たちの使命）

人類の生存に欠かすことのできない食料・水・環境。クボタグループは、優れた製品・技術・サービスを通じ、豊かで安定的な食料の生産、安心な水の供給と再生、快適な生活環境の創造に貢献し、地球と人の未来を支え続けます。

クボタ・グローバル・ループ＝「食料・水・環境」の関係

「食料」「水」「環境」は個別のテーマではなく、密接に結び付いたテーマ



# 事業の概況

## 機 械

主要製品

農業機械および農業関連製品、エンジン、建設機械等

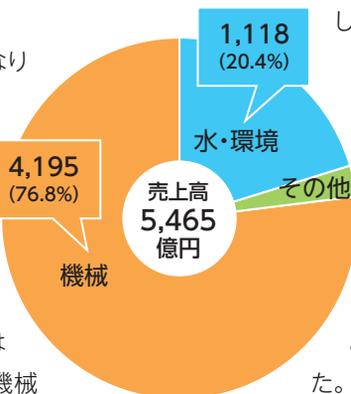
当部門の売上高は、前年同期比16.0%増加して4,195億円となり、売上高全体の76.8%を占めました。

国内売上高は、11.1%増の1,352億円となりました。農業機械は東北地域が前年の反動により大幅増となったことに加え、他地域も堅調に推移したため増加となりました。建設機械は震災復興需要、エンジンは電力不足対応需要などにより大幅な増収となりました。

海外売上高は、18.5%増の2,843億円となりました。北米では、トラクタは需要が堅調に推移したことから増収となり、建設機械も旺盛な更新需要により大幅に伸張、エンジンも順調に拡大しました。欧州では、円高により円貨での売上は、トラクタ、建設機械は減少しましたが、エンジンが伸張したことに加え、買収した事業の寄与もあり全体では大幅な増収となりました。アジアでは、建設機械は中国の大幅な需要減、エンジンもタイ生産拠点の浸水に伴う減産により減少しましたが、農業機械がタイ、中国を中心に好調に推移したため全体で増収となりました。



北米向けトラクタ



4,195  
(76.8%)

売上高  
5,465  
億円

1,118  
(20.4%)

水・環境

その他

## 水・環境

主要製品

パイプ関連製品(ダクタイル鉄管、合成管、バルブ、ポンプ等)、環境関連製品(各種環境プラント等)、社会インフラ関連製品(素形材、鋼管、自動販売機、精密機器、空調機器等)

当部門の売上高は、前年同期比4.6%増加して1,118億円となり、売上高全体の20.4%を占めました。

国内売上高は、2.1%増の965億円となりました。パイプ関連製品は、ダクタイル鉄管や合成管は増収となりましたが、ポンプ、バルブの減収により微減となりました。環境関連製品は上下水処理装置などの増により伸張し、社会インフラ関連製品も増収となりました。

海外売上高は、24.4%増の153億円となりました。環境関連製品は減少しましたが、ダクタイル鉄管の増加によりパイプ関連製品が大幅に売上を伸ばし、社会インフラ関連製品も素形材の増加により大幅な増収となりました。

当部門のセグメント利益は、増収効果などにより23.9%増加して57億円となりました。



新耐震管GENEX

## その他

主要製品

工事、各種サービス事業等

当部門の売上高は、前年同期比15.3%増加して152億円となり、売上高全体の2.8%を占めました。工事は微減となりましたが、その他の事業は増加となりました。当部門のセグメント利益は、22.3%減少して6億円となりました。

# トピックス

## タイSKCでトラクタ生産10万台を達成

タイにおけるトラクタ、コンバインの生産拠点である、サイアムクボタコーポレーション(SKC)は、2008年10月のトラクタ生産開始からおよそ4年で生産10万台を達成しました。タイとその近隣諸国では、その経済成長に伴い農業の機械化が進んできており、今後一層の需要拡大が見込まれます。今回の達成をひとつの通過点として、アジアをリードする農業機械メーカーとして、各国の農業発展にさらに貢献してまいります。



本年8月に行われた記念セレモニーの様子

## 国内およびアジア諸国における水処理事業を強化

当社は、富士化水工業株式会社(以下「富士化水」)の水処理をはじめとする環境エンジニアリング事業(中華人民共和国に関する事業を除く)を買収します。これにより、国内では、当社の公共上下水分野における設計・施工・アフターサービスなどの総合力に、富士化水の民間産業排水処理分野を中心とした環境エンジニアリングの技術・ノウハウを加え、水処理事業の基盤を強化します。また、アジア諸国では、当社のMBR(膜と生物処理を組み合わせた水処理方法)・浄化槽などの製品・技術と富士化水のエンジニアリング実施拠点を結び付け、アジアにおける事業展開の加速を図ります。

## アジア共通設計の乗用田植機を新発売 ～高い基本性能を維持しシンプル機能で低価格を実現～

当社はアジア共通設計の乗用6条ディーゼル田植機「ウエルスターワールド」を2013年1月に発売します。高い基本性能と耐久性を備えながら、機能を絞り込んだシンプルな設計により、現行国内モデルよりも低価格を実現しました。

※写真はオプション品装着



## インドネシアでの農業機械事業の強化について

当社はインドネシアに農機販売会社「P.T.クボタマシナリーインドネシア」を設立することとしました。農業機械市場の拡大が予想されるインドネシアで水田用農業機械の主要機種であるトラクタ・コンバイン・田植機の本格販売を行い、アジアでの農業機械事業をさらに拡大します。

## 「地球小屋」に被災地の子どもたちを招待しました

本年7月に山形県庄内町にて、小学4～6年生21名を対象に、サマーキャンプ「第6回クボタeプロジェクト地球小屋(TERRA-KOYA)」(主

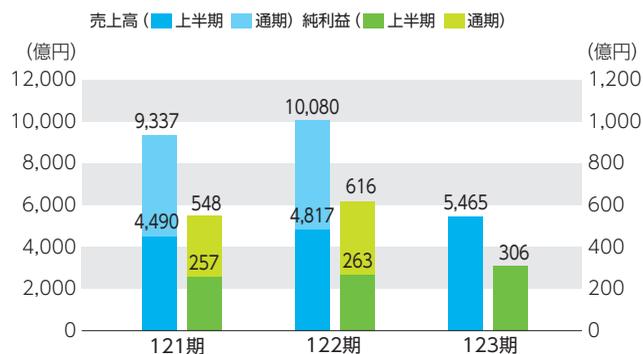
催:NPO法人ビーグッドカフェ)を実施しました。地球小屋は子どもたちに自然の中での遊びを通じて、自然の恵みの豊かさや地球環境の大切さについて考えてもらうことを目的としており、これまで首都圏の小学生を対象としていましたが、昨年より福島県を中心とした被災地の子どもたちを招待しています。



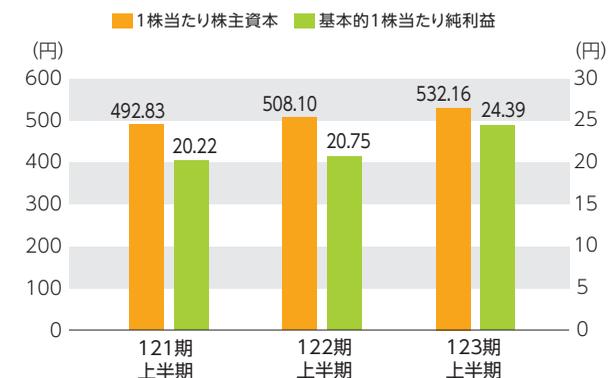
# 連結業績ハイライト

	121 期上半期	122 期上半期	123 期上半期
売上高	4,490 億円	4,817 億円	5,465 億円
純利益	257 億円	263 億円	306 億円
1 株当たり株主資本	492.83 円	508.10 円	532.16 円
1 株当たり純利益	20.22 円	20.75 円	24.39 円

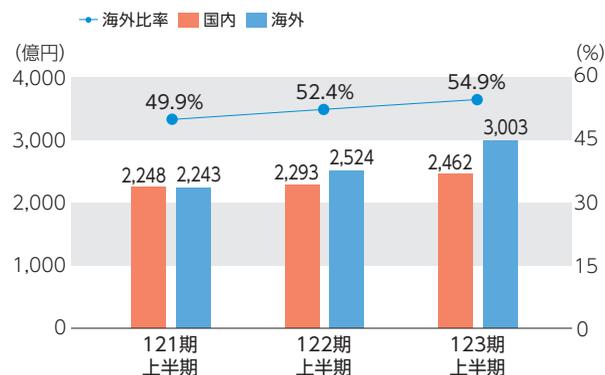
## ■ 売上高・純利益



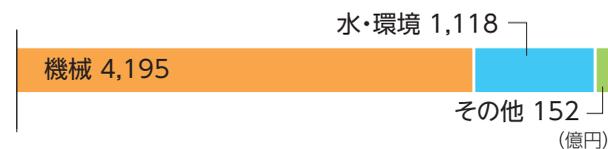
## ■ 1 株当たり株主資本・基本的 1 株当たり純利益



## ■ 国内・海外別売上高



## ■ セグメント別売上高 5,465 億円



## ■ 地域別売上高 5,465 億円



※本頁の純利益は、米国会計基準における「当社株主に帰属する四半期純利益」です。



## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月に開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日
単元株式数	1,000株
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行(株) 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行(株) 証券代行部 tel 0120-782-031 (フリーダイヤル)
取次窓口	三井住友信託銀行(株) 本店および全国各支店
公告方法	当社ホームページに掲載
上場証券取引所	国内：東京・大阪 海外：ニューヨーク

### 表紙写真



#### 『希望の目覚』

早朝の川霧は晩秋に見られる珍しい現象で、朝日と隊列を組んで飛ぶ無数の鳥たちが美しい風景写真です。

撮影：手島常雄さん

この写真は第7回クボタフォトコンテストの入選作品です。

### 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。  
 なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設された株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行(株)にお申出ください。

### 未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行(株)にお申出ください。

### 配当金計算書について

配当金支払い時にお送りしている「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねています。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。

なお、配当金領収証にてお受取りの株主様につきましても、配当金支払いの都度「配当金計算書」を同封しています。